

# 災害は突然に、容赦なく平穏な日常を奪います！



～泥水に埋まったあの日からの記録とその体験から公民館のあり方を考える～

竹原市立東野公民館

東野町の位置



竹原市東野町	(30.12)
人口	1,180人
世帯数	541世帯

# 災害への備え

## 防災マップ作り打合せ会議・危険箇所等現地調査

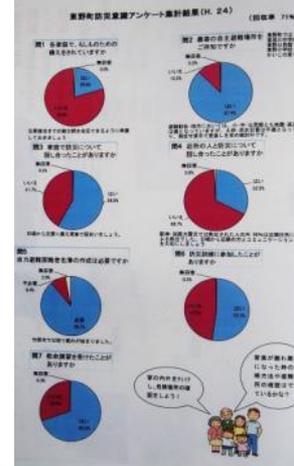
協働の町づくり・自治会・消防団・地域ボランティア 45名参加

平成24年3月17日



## 危険箇所等現地調査

## 防災マップ完成 平成25年6月

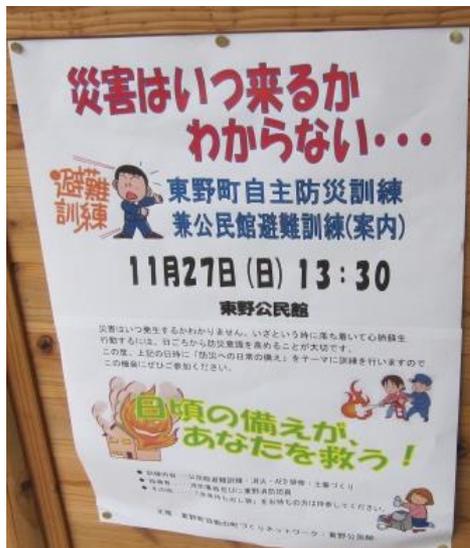


# 防災訓練

(2年に1回)開催

平成28年11月28日

参加者135名



# 防災学習

(2年に1回)開催

岩国防災センター・広島県防災センター等視察研修



平成三十年七月六日豪雨災害被災状況



東野町被害状況まとめ

死者 1名 負傷者 1名

損壊・床上・床下浸水家屋 140戸

農地への土砂流入 45カ所以上

7月7日 AM10:00



7月7日 氾濫の在屋川



7月7日 賀茂川と国道432号



生活排水路の氾濫



7月7日 AM6:00





7月7日 AM6:00 公民館内部



東野町内 土石流現場



東野駐在所





駐在員の勤務時間  
平日 午前9:00-12:00  
午後1:00-3:00

本日の教室行事  
朝 コーラス 2階ホール  
夜  
本日はご迷惑をさます  
楽しく学びましょう  
東野公民館

7月7日 PM17:00

七夕飾りも泥水に



破壊の事務所内とその被災ごみ

避難場所になっていた和室。食器棚が・・・



この和室には、当たり前のように楽しい時間が流れていた



調理室。3台の冷蔵庫も倒壊

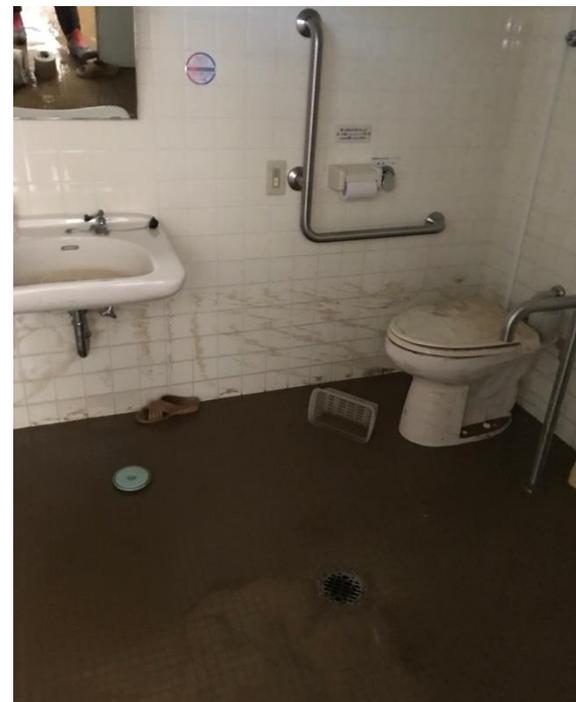


図書室



図書室

トイレ・洗面台

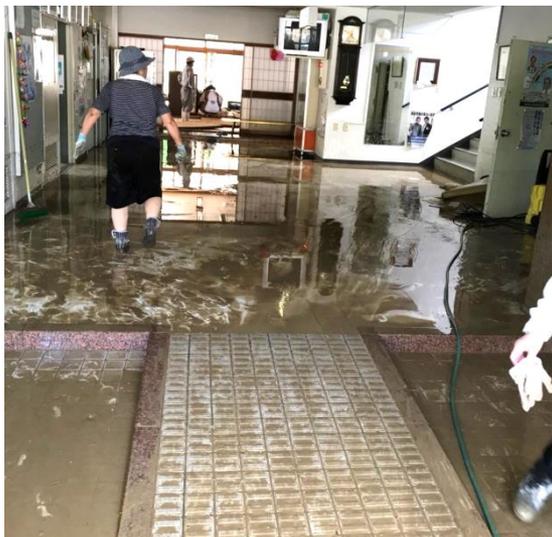


# 復旧活動



避難指示が解除された7月9日から職員と地域の方とで復旧作業を開始





猛暑の中、泥との戦い 玄関ホール・調理室





地域の皆様、この度の水害  
被害、お見舞い申し上げます。  
東野公民館も一階は水没し  
壊滅的な被害を受け、復旧の  
めどが立ちませんが、大変ご迷惑を  
おかけいたしますが、ご理解をいただき  
ます様よろしくお願いたします。 東野公民館





浸水被害、緊急避難、復旧活動、猛暑、熱中症、救急搬送、断水、泥や汗の臭い、舞い上がる砂ぼこり…  
真夏の戦いの記録です。心身ともに大変なきびしい状況でした。これが災害の現実です。

しかし、多くの人に助けていただきました。多くの救援物資が届き、助け合うこと、ボランティア精神、地域のみなさんの公民館愛等、災害にあってみないとわからなかった事も多くありました。そして…復興へ



自衛隊駐屯 復旧活動の最前線基地・入浴支援(7/15～8/3)





自衛隊の皆さんとお別れ会。「練馬の湯最高！皆さんに感謝」

# 復興活動



10月1日より公民館再開。たくさんの笑顔が戻りました。が・・・



東野町産業文化祭 毎年11月23日開催

農産物をはじめとして東野町の産業・文化を紹介、展示。農産物は金賞・銀賞など賞を設けて農家の皆さんの励みになっている。

この度の災害で田畑に土砂が流入し、農産物に被害も多く、公民館も完全に復旧していない現状で、この祭りの開催をどうするのか・・・！

「災害を受けた今だからこそ元気を出して、出来ることを出来る範囲でやろう！協力するから。」

という多くの町民の声で

“がんばろう！東野 咲かそう笑顔いっぱい祭り”

として開催することに・・・！！





野菜や遊休品の販売に多くのみなさんが来館



女性会のバザー。調理室が使えない中でもうどんなど作って販売



災害被害にあった方もみなさんと談笑。  
地域有志の方による「ふれあいカフェ」にて



どんな時も、子どもたちの笑顔は最高です！



ひがしのキッズのみんなと「ふるさと東野」合唱



フルートの音色に心癒されました



東野を元気に! UBエンゼル噂のラインダンス



ひがしの応援隊の皆さんと昭和の歌大合唱!

かんはろう！東野 咲かそう笑顔いっは  
～第40回東野町産業文化祭～



東野の平凡な日常を奪った



災害被害のスライドを見ながら「見上げてごらん夜の星を」の合唱。地域みんな心一つに前を向く！

# 地域に明るい話題を！ 「地域国際交流会」開催



## マダガスカル・コートジボアール・ガボン・ブルキナファソのJICA研修員さんと笑顔の交流。



# 守ろう！東野の町！！

一月二十五日(金)

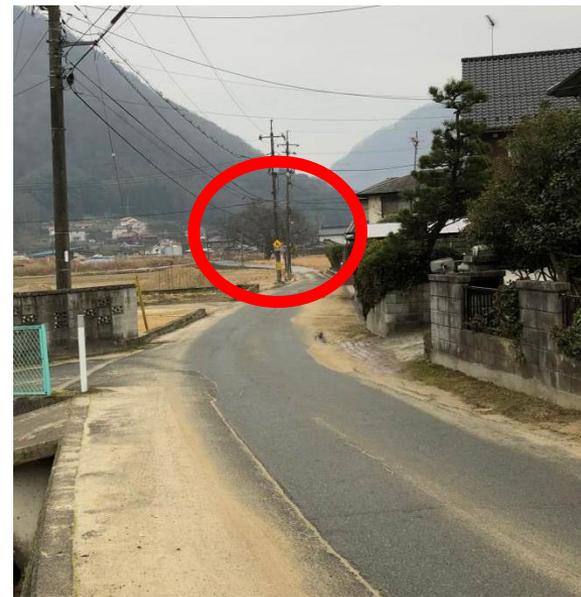
東野小学校5年生  
「東野町をたすけ隊」結成



二十四の瞳でしっかりこの度の災害被害を学び、後世に伝えるために「防災マップ」を作ります



あの日大切なふるさとに何があったのか、教室だけでなく実際に被災現場に立ち、被災者の生の声を聞きました。



### 藤の木 (目通り 4.5m)

1620年に東野で大洪水があり、流失した榎が流れつき、藤の木とともに共存し、今は藤の木という地域の人や近郷の人々より親しまれている。



歴史を学び、伝承の大切さも知りました。



この「藤の木」が教えてくれている防災の大切さも地域のみなさんへ届けます。



# 災害の体験を通して

“老いの知恵  
社会へ戻す公民館”  
(受講生の声)  
知の循環型事業の展開

小学生や各種団体と協力

公民館

被災者の声

生涯学習  
地域行事

よりそい  
つなぐ

災害体験を  
語り継ぐ

高齢者の  
心の支え

地域の  
人與人

行政

被災していない人  
との温度差を痛感

防災・減災  
地域活性化

避難所問題  
被災力所の復旧

# 終わりに・・・さらに続く不安と問題



賀茂川土手決壊の危険



## 避難所問題





～泥水に埋まったあの日からの記録とその体験から公民館のあり方を考える～

竹原市立東野公民館